

ナミビア

主要データ

国名〔英名〕	ナミビア共和国〔Republic of Namibia〕
面積(km ²)	824,292
海岸線延長(km)	1,572
人口(百万人)	2.1
人口密度(人/km ²)	2.6
GDP(百万US\$)	8,835
一人当りGDP(US\$)	4,278
一人当り銅使用量(kg/人)	※
主要鉱産物：鉱石(千t)	銅(8.7千t)、鉛(14.3千t)、亜鉛(193.0千t)、銀(7.7t)、マンガン(90.0千t)、ウラン(4,366t)
主要鉱産物：地金(千t)	亜鉛(144.4千t)
鉱業管轄官庁	鉱山エネルギー省(Ministry of Mines and Energy)
鉱業関連政府機関	地質調査所(MME Geological Survey)、国立地球科学・エネルギー情報センター(National Earth Science and Energy Information Centre)、地質経済課(Economic Geology Subdivision)
鉱業法	鉱業法(Mining Act 1992)
ロイヤルティ	有
外資法	外国投資法(Foreign Investment Act, No. 24 of 1993)
環境規制法 (環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	NA
鉱業公社	NA
鉱業活動中の民間企業	Angol American(英)、Rio Tinto(英、豪)、Exxaro Resources(南ア)、Weatherly International plc(英)
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	特になし
2008年のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> ・2007年2月から新規のウラン探鉱のライセンスの発給を一時停止していたが、2008年11月に解除され、新規に4ライセンスが発行された。 ・2008年12月、銅価格の下落のため、Weatherly International plc(英)の操業する全ての鉱山が操業を停止し、待機維持状態となっている。

1. 鉱業一般状況

ナミビアの主要産業は、鉱業、漁業、農業、観光であり、中でも鉱業は、2008年における同国の輸出額の7割近くを生み出す主力産業となっている。この主力である鉱業の最も重要な生産物はダイヤモンドであり、鉱業からの輸出額のうち約40%がダイヤモンドからもたらされている。次いで、ウラン、亜鉛、銅の順となっており、ウランは世界第4位の産出量となる。

他の鉱産物の主なものは銅、蛍石、金、鉛などである。2008年における主要鉱物資源の生産量は、主力となるダイヤモンドは前年比2.5%減の2,122千ctとなった。ウラン(U₃O₈)については4,366t(前年比51.6%増)と大幅増となった。これは、前年に剥土をおこなっていたRossingウラン鉱山における鉱石の高品位化等によるものである。ナミビアにおける鉱物資源の生産量は、一部のベースメタルの生産を除き、全般的

に増加しているが、2008年の世界的な経済危機により、12月に同国の4銅鉱山全てが休止し、また、2009年には、陸上のダイヤモンド採掘を3か月間休止するなど、鉱業をめぐる情勢は悪化している。この間、雇用状況も悪化し、ナミビアにおける鉱業関係労働者約2,000人が失業している。

は2007年2月から発給がモラトリアムになっている。

- 2009年4月排他的探鉱ライセンス(Exclusive Prospecting License)の新規申請や更新の際には現地株主所有権の導入や現地貧困対策への取り組みが要求されることが政府から発表された。
- 2009年5月政府はRossingウラン鉱山に倍の鉱業税を課税した。(ロイヤルティ導入時より、法整備の不備を理由として同社は支払いを拒否していた。)

2. 鉱業政策の主な動き

- なお、新規のウラン探鉱ライセンスについて

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要非鉄金属鉱石生産量

表1. ナミビア：金属鉱石生産量

(単位：千t)

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年増減比(%)
銅	6.3	5.8	8.7	50.0
鉛	11.0	11.2	14.3	27.7
亜鉛	191.0	201.6	193.0	-4.3
マンガン	20.9	52.5	90.0	71.4
ウラン(t)	3,067	2,879	4,366	51.6

(出典：WMSY2009、World Nuclear Association)

(2) 主要非鉄金属地金生産量

表2. ナミビア：金属地金生産量

(単位：千t)

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年増減比(%)
亜鉛地金	129.9	150.1	144.4	-3.8

(出典：WMSY2009)

(3) 主要非鉄金属消費量

該当データなし

(4) 主要非鉄金属輸出力

表3. ナミビア：精鉱中含量・地金輸出力

(単位：千t)

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年増減比(%)	主な輸出相手国
亜鉛地金	126	152	139	-8.6	

(出典：ILZSG)

(5) 主要非鉄金属輸入量

該当データなし

4. 鉱山・製錬所状況(2008年実績)

表 4. 鉱山一覧

(単位:千t)

鉱山名	権益所有企業(権益:%)	鉱種	生産量(千t)	備考
Otjihase 鉱山	Weatherly	銅	5.3	銅価格の回復を待って、2009年末までには再開予定。 2008年12月、同社はナミビアで操業する全ての鉱山を休止し、労働者が失業した。
Tsumeb 鉱山	International plc (100%)	銅	1.7	
Kombat 鉱山		銅	1.3	
Skorpion 鉱山	Anglo American (100%)	亜鉛	145.4	2008年5月、14%の賃上げ要求をめぐり、19日間のストライキが発生した。この影響により、生産量の1日分が減産となった。
Rosh Pinah 鉱山	Exxaro Resources Ltd(50.04%) Jaguar(38.99%) Pe Minerals(8%) Employees(2.97%)	鉛精鉱 亜鉛精鉱	20.0 94.0	2008年下期に選鉱施設に故障が発生し、2009年下期に改修予定である。 2008年1月、2014年閉山を発表
Rossing 鉱山	Rio Tinto(68.6%) イラン政府(15%) Industrial Development Corp(南ア政府)(10%) ナミビア政府(3%)	ウラン(t)	4,067	2008年 2009年3月、同鉱山のマインライフが2021年まで延長された。
Langer Heinrich ウラン鉱山	Paladin Energy Ltd(100%)	ウラン(t)	776	2008年

(出典: Metal Economics Group)

表 5. 製錬・精製所生産状況

	権益所有企業(権益:%)	鉱種・形態	生産量(千t)	備考
Tumeb 製錬所	Weatherly International plc (100%)	銅・粗銅	18.6	2008年 2010年に酸素プラントを建設し60%増産の計画有 2008年ブルガリアとペルーからの長期買鉱契約(2013年12月末まで)を締結
Skorpion 鉱山/精錬所	Anglo American (100%)	亜鉛	145.4	2008年

(出典: Weatherly annual report 2008、Anglo American Financial Statement 2008)

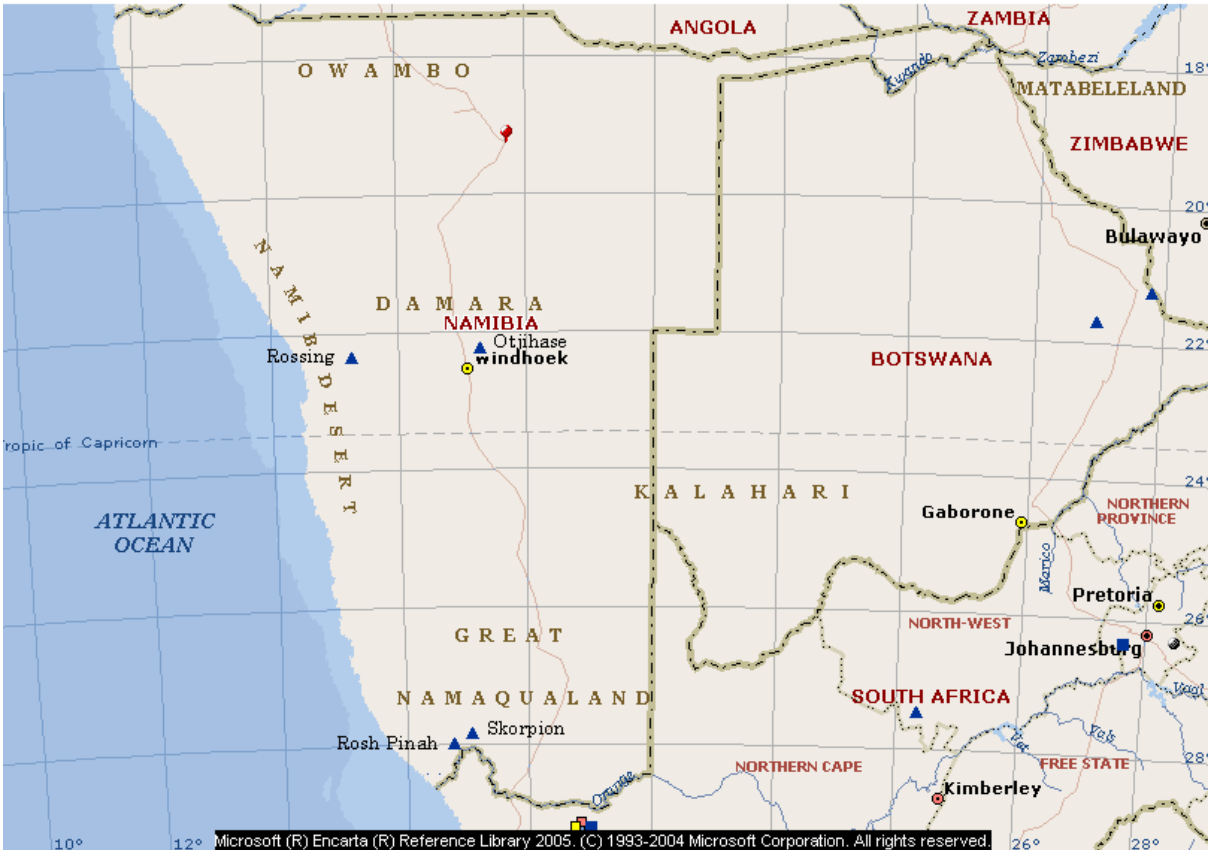


図 1. ナミビアの主要鉱山位置図

5. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

表 6. ナミビアの日本への精鉱・地金輸出力

(単位：t)

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年 増減比(%)
亜鉛地金	6,103	4,472	14,843	231.9

(出典：日本貿易月表 2008.12)

(2) 日本企業による投資状況等

特になし

6. その他トピックス

特になし

(2009.08.05/ロンドン事務所 竹谷 正彦)